

空舞う魚影、光の幻想

「クラウドファンディングを活用した宇宙水族館の構想」

時は20XX年、魚達は宙を舞った。

■連鎖型ドームレジヤ施設 開発

月面での開発が進むにつれ、縦穴を利用した地球生物の憩いの場が連鎖し、月面での娯楽と研究の二方向から人と魚の活動を支える。



00. Time Scheme



01. 縦穴水族館のレジヤとしての可能性



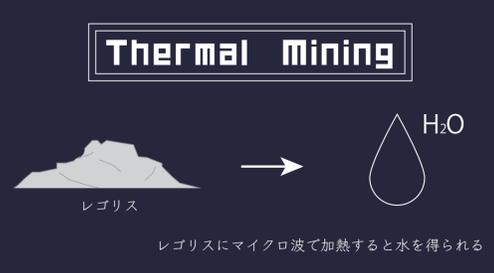
月面移住が現実になった時代では、継続的な研究・開発と月面旅行のアクティビティの一つとしてレジヤ機能が求められることが想定される。本計画では月面での活動を支えるレジヤ施設として水族館を提案する。

02. Site : マリウスヒルの縦穴



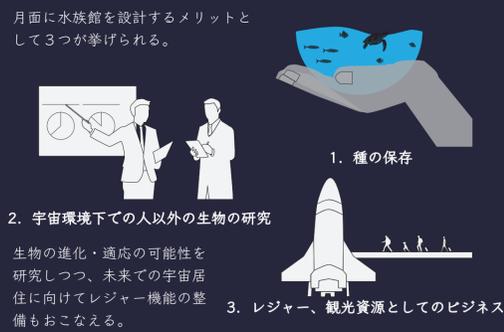
月探査機「かぐや」によって月で最初に発見された「マリウスヒルの縦穴」位置：北緯14.2度 東経303.3度 サイズ：直径約60m 深さ約50m

03. 水の生成

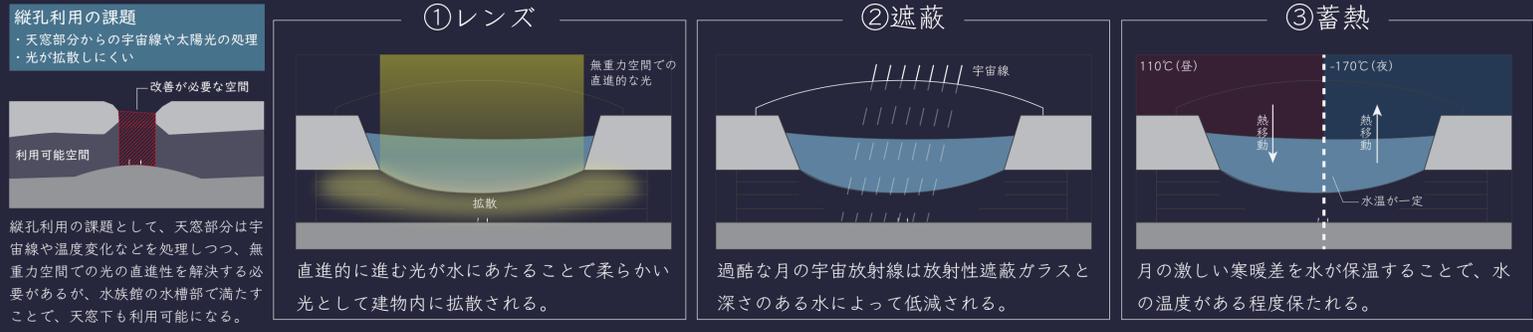


月面レゴリスから水資源を採取する方法として 太陽光により月面レゴリスを直接加熱して水を取り出す。

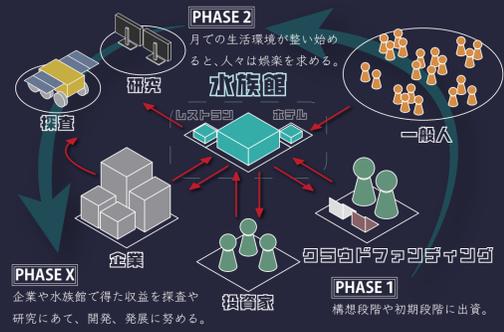
04. 水族館のメリット



05. 水槽による三つの機能



06. 宇宙での水族館の運用



07. 宇宙水族館の全体構成 (断面図 S=1/500)

